

広 報 広 聴 委 員 会 会 議 録

招 集

令和7年2月17日（月）午前10時開催の都市経済委員会終了後

出席委員（7名）

（委員長）又 野 史 朗 （副委員長）大 下 哲 治
稲 田 清 田 村 謙 介 徳 田 博 文 錦 織 陽 子
吉 岡 古 都

欠席委員（1名）

門 脇 一 男

出席した事務局職員

松田局長 田村事務局次長 坂本議事調査担当係長

傍 聴 者

報道関係者0人 一般0人

協議事件

- 1 議会報告会・意見交換会について
- 2 市議会だよりについて

〜〜

午前10時44分 開会

○又野委員長 おそろいになりましたので、ただいまより広報広聴委員会を開会いたします。

門脇委員から欠席の届出がありましたので、御報告をいたします。

そうしますと、協議事件に入りたいと思います。

最初に、協議事件1、議会報告会・意見交換会について協議をいたします。

まずは事務局から説明をお願いいたします。

田村次長。

○田村事務局次長 そういたしますと、協議事件1、議会報告会・意見交換会についてでございますけれども、2月13日、作業部会のほうで本日の協議事項（1）から（5）まで協議をいただきましたので、その結果を踏まえまして本日、皆さんのほうで御意見をいただき、御協議をいただけたらと思います。

まず（1）当日の流れについてでございます。資料1の3ですね、3の次第のところでございます。黄色でマーカーしているところが、前回のところと少し変えたところでございます。流れについては1から7まで前回と同じでございますけれども、時間についてですけれども、前回の振り返りとかアンケートの結果等を踏まえまして、意見交換会の時間が短かったといったような意見が多かったというところで、（2）と（3）、議長のほうの挨拶と議会報告会の時間ですけれども、合わせて前回は20分としておりましたけれども、そこを5分縮めまして15分というところで、この間、決めさせていただきました。意見交換会のほうを5分延長して50分というところで前回お話しいただいております。

それから、集合写真の時間、尺を取るというお話が前回ありましたけれども、こちらにつきましては閉会後に参加者の方、議員の方と希望者の方と一緒に集合写真を撮るという

ところで、このマニュアルのほうにも入れさせていただくということになっております。

私のほうは、前回の協議結果のほうは以上でございます。御確認、意見のほうを御協議お願いしたいと思います。以上です。

○又野委員長 当日の流れについては以上になりますけども、何か御意見等ございますでしょうか。

徳田委員。

○徳田委員 僕の記憶がどうか分からないんですが、受付開始時間もちょっと何か例示していただくような感じで思ってたんですけども、これって、いわゆる本当の正味の開始、終了ですので……。

○又野委員長 はいはい、あっ、これ自体に。

○徳田委員 いや、あ、中にあるんですか。

○田村事務局次長 はい。

○又野委員長 田村次長。

○田村事務局次長 (4)の進行表のところで時間配分と受付時間、その辺り、お話をさせていただけたらと思います。

○徳田委員 すみません。

○又野委員長 徳田委員。

○徳田委員 それ中身、進めれば分かるんですけど、ちょっとやっぱりここに書いていただいといたほうがいいかなと思います。受付開始何時からということ。

○又野委員長 そしたら、一番最初ぐらいになるんですかね。受付時間も一応ここで分かるようにしておいた方がいいという御意見ですけれども。

錦織委員。

○錦織委員 3の次第はやっぱりこれで、この会そのものを書かなきゃいけないと思うんですけど、その開催日時で午後2時から午後3時30分までっていうので、括弧して何か受付で、受付は何時からとかっていうふうに書くとかしたらどうでしょうか。

○又野委員長 徳田委員。

○徳田委員 その対応でいいと思います。ただ、中身を見てやるんじゃないしに、これ1番の表面ですので、ここでしっかり理解してもらったほうが僕はいいと思います。

○又野委員長 一番上の1の開催日時のところに、この会自体は2時から3時30分ですけども、その下に括弧とか米印みたいなので、受付は午後1時30分からっていう感じで付け加えるというぐらいだったら何の問題もないかなと思いますので、じゃあ、それでいかせていただきたいと思います。受付、はい。

ほかに御意見ございますでしょうか。

田村委員。

○田村委員 誰も言わないので、僕だけの表示がおかしいのかな思ってるんですけど、「集合写真一緒に」ってなってるんです。

○又野委員長 ああ、「に」が。

○田村委員 これ、みんな知ってますか、分かってますよね。何かそういうのを誰も触れないので、心配になってきちゃって。

○又野委員長 ありがとうございます。

じゃあ、「に」っていうのが2つあるんで、1個削除ということで。

そしたら、取りあえず当日の流れについてはよろしいでしょうかね。ありがとうございます。

田村次長。

○田村事務局次長 続きまして、(2) 議会報告会の内容の検討、資料の作成についてでございます。

議会報告会の内容につきましては、前回は、前の要綱に定められている項目に沿った内容で、議会報告会の内容を定められておられましたけれども、今回につきましては、前回の項目のところにもありました、今(1)としております議会の仕組み、それから(2)議会の活動及び運営、その辺りに重きを置いたほうがいいのではないかというような意見。それから、あとは議決の経緯及びその理由、予算決算に関する事項などを内容として入れたらいいのではないかというようなお話ではありましたけれども、具体的な内容につきましては、今後、議会報告をされる議長のほうと委員長のほうで内容を詰めていただいて、決定をしていただくというようなことになっておりました。

説明のほうは以上でございます。

○又野委員長 この内容のところについて、議長からの報告の内容ですけれども、前回が予算決算っていうところで、時間っていいですか、個別の事業についても上げてたんですけれども、予算のほうは確かにこれからのことなんで載せたがいいだろうけれども、決算まで個別の事業についてはどうかという話も作業部会のほうでありまして、そこをちょっと予算決算についてっていうことで短めに、全体の時間も20分から15分になりましたんで、そこはちょっと短縮してということを私のほうから議長に伝えて、その方向でお願いしたいなと思ってるところですけれども、何か御意見あればお願いします。

そのように私のほうから議長に伝えて、報告会の内容を考えていただくことで進めたいと思います。よろしくお願いします。

じゃあ、続きまして。

○田村事務局次長 続きまして、(3) 当日の役割分担についてでございます。資料1の6番のほうを御覧ください。

当日の役割分担ですけれども、前回と同じで、会場の準備等の総括のほうは広報広聴委員長のほうにお願いをするということです。それから受付ですけれども、前回は1グループ1人ということで合計9人の方に受付をお願いしておりましたけれども、受付の人数が多いといったような声がありましたので、各班1名としてはどうかということで、今3名ということで、割当てにつきましては5の意見交換会の役割分担もですけれども、委員長と事務局のほうで割当てのほうを決めさせていただいた案で、名前を載せさせていただいております。司会進行のほうは又野委員長、それから議会報告が岡田議長、それから意見交換会のほうは進行と、あと記録と発表(サポート)としておりますけれども、発表者につきましては、前回は初めてということで議員さんについていうところで、議員さんが発表の担当をしていただいておりますけれども、振り返り等の中で高校生等にも発表していただいたらどうかといったような意見も踏まえまして、今回は議員さんのほうはサポートのほうに回っていただくといった形で、高校生の発表をサポートしていただくという役割をしていただくというようなお話になっておりまして、サポートといったところを

付け加えさせていただいております。それから、終わりの挨拶、謝辞が田村副議長といったところでございます。

といったところで、この間のお話はそのような形で終わっておりますので、以上でございます。

○又野委員長 ありがとうございます。

今説明ありましたけれども、受付のほう、前回ちょっと人数が多いじゃないかっていうことだったので、各班1人ずつ受付をしていただくということで、あと、それぞれの役割ですけれども、進行のほうは各常任委員会の委員長から優先的にこれはしたということで、それと、あとはもう、ごめんなさい、年功で年の高いところから、特に理由をつけるのも何かあれかなと思って、単純に決めさせていただいたというところなんです。もしここはどうしてもっていうのがなければ、この役割で議員さんにお知らせしたいなと思っております。

先ほどの発表の分ですけれども、作業部会の中では、高校生にしてもらったほうが、やっぱり議員がするよりはいいんじゃないかっていう話で、高校生にしてもらおうってなりかけたんですけれども、松田局長が高校のほうと話をすると、ちょっとなかなか発表までは難しいところもあるかもしれないっていう話がありまして、あ、じゃ、それだったら議員もサポートしながらっていうことで、サポートが必要だったらつきますし、高校生だけでできるんだったら高校生だけで発表してもらってもいいんじゃないかということで、あくまでも高校生がサポート、ちょっとついてほしいとかなればサポートして、そこまでじゃなかったら隣にいていただくぐらいで済むかもしれませんし、そこら辺はその場で臨機応変にさせていただくというような格好での、この記録と発表（サポート）というような感じになりますけれども、もし分かりにくいところとかあれば、何か御意見とかあればお願いいたします。

〔「なし」と声あり〕

○又野委員長 じゃあ、役割分担のほうは、では、この分担でそれぞれの議員さんのほうに一斉にお知らせしたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。もし何で私がこれなのって言われたときには、先ほどのような説明していただければ。もしかしたら会派で聞かれるかもしれませんが、よろしくをお願いいたします。

（発言する者あり）

○又野委員長 じゃあ、続いてをお願いいたします。

○田村事務局次長 続きまして、（４）進行表及び注意事項マニュアルについてでございます。資料２を御覧ください。

資料２のほう、進行表と注意事項のマニュアルを含んだ内容の資料になっております。これも前回の内容を踏まえて大体前回と同じなんですけれども、時間については、まず集合時間ですけれども、前回２時間前に集合時間を設定をしていたんですけれども、早過ぎたというような意見が多かったですので、１時間前の集合、２時開会ですので、１時に集合とさせていただいております。３０分後ですね、開会の３０分前に受付開始といった流れになります。あとは、先ほど見ていただいた資料１の次第の流れに沿った時間に直させていただきます。

それから担当のほうも、先ほどの資料１の内容のものを入れさせていただいております。

項目の前回との主な変更点ですけれども、テーマと閉会後に集合写真の撮影といった項

目を付け加えさせていただいております。

それから、意見交換会の進め方、それから注意事項のマニュアルですけれども、2ページになりますけれども、こちらも特に変更はしておりません。注意事項マニュアルを徹底するといったような意見が前回ありましたけれども、進行表の中にそのまま前回と同様に入れさせていただいております。

意見交換会のところで、発表の方法につきましていろいろ意見がありました。発表時間は20分というところで前回と変わらないんですけれども、振り返りの中で、いろいろ発表については見直しが必要じゃないかといったような意見が結構ありまして、発表の時に発表の声が重なって聞き取りにくかったですとか、全部の皆さんの発表を聞きたかったといったような意見もありましたので、その辺で、作業部会のほうでお話をさせていただいた中で2つの案が出てきました。前回と同様でいいのではないかという意見と、それから9グループ全員に発表してもらおうといったところで、各テーブルで発表してもらおう。時間を20分というところで、9グループということになります、時間が限られますので、各グループ何分といったところで時間を区切って皆さんに発表してもらおう方法はどうかといったような意見がありました。この辺りについては、委員会のほうで皆さんでお話をさせていただいて決めていただきましょうといった結論になっておりますので、御協議いただければと思います。よろしくお願いいたします。

○又野委員長 ありがとうございます。

まず、マニュアルを作ったほうがということだったんですけど、この当日の流れと注意事項の、先ほど2ページのところで、意見交換会の進め方の説明のところで、こういうふうになっているのが載ってますので、別に、別物の紙じゃなくて、ここで確認すればいいのではないかという話に作業部会のほうでなりました。どうしても別で作ったほうがいいという御意見とかあれば出していただいてもいいですし、あと、この進め方の説明のところでこういうことも付け加えたほうがいいんじゃないかっていうのがあれば、言っていただければと思います。まず、そこ先に、じゃあ、もし進め方の説明のところで御意見あれば、2ページのところの。よろしいですかね、じゃあ、ここにこれ書いてあるということ。

次に、発表の仕方ですけれども、先ほど事務局からも説明ありましたけれども、前は3つの班に分かれて、その班の分だけの発表を聞いていたというのを、全部のグループの分をみんなで聞くっていうスタイルがいいのではないかという意見もありまして、ただ、時間的にこれまで3回の発表で済んだのが、別々でやってたので、20分時間が取ってあって、五、六分の発表がそのときは、前はしてたんですけれども、全部のになってくると9回の発表を聞くので、二、三分になってくるっていうところで、そこら辺の、どちらがいいのかっていうところでなかなかまとまらなかったのも、ちょっと御意見をいただければなと思っているところです。よろしくお願いいたします。

○徳田委員 いいですか。

○又野委員長 徳田委員。

○徳田委員 御希望は全部聞きたいっていうのもあると思いますが、3分でまとめようと思うと、相当圧縮なりなんなりをしないと無理だと思いますんで、現実問題としては、やっぱり今までどおりのやり方で、自席で説明していただくやり方のほうが私はいいかと思います。去年の記憶では、だけん、チームによっては、その分類までちょっと行かなか

ったところも多分、多々あったと思うんですよ。だけん、発表の段にまだなっていないけども、時間で打ち切りみたいなこともあると思いますので、結局その意見交換会ですから、多様な意見を基にやっぱりそれでプレゼンしていただくというのが一番本義だと思いますから、今回の分については。3分で区切らんほうが私はいいと思います。

○又野委員長 ほかに御意見、吉岡委員。

○吉岡委員 班で出た意見を報告書に上げるために、その班できちっと集約して文章化しておけば、後で皆さんがはっきりと共有できるので、徳田委員が言われた、みんなで聞く必要はないのかなって思います。

○又野委員長 ほかにありますでしょうか。

稲田委員。

○稲田委員 一人一人意見陳述したほうがいいですかっていうのが一つと、最後まとめるのはもう多数決か、あるいは意見陳述をもって多数決のようにするのか、最終的にはもう委員長がまとめますにするのか。その辺のちょっと道筋を伺ってから発言しようかなと思いますが、どうでしょうか。

○又野委員長 一応、私としては、ちょっと意見を聞いてみて、そこら辺の判断、もし割れるようだったら多数決にしようかなと思ってたんです。今のところ、片方の意見しかないんで、もう。では、ほかに意見なかったら、そうしてよろしいですかって聞こうかと思ってたんですけれども、もし、ですんで、違う意見があれば言っていいただければ。

○稲田委員 案が2つというのは作業部会で出てる意見で、よりいいものがあれば、それを上位として提案もできたんですけど、やはりそこはなかなか難しいので、2案がまず出ているという背景でございます。1案目はもう御案内のとおり、旧来のやり方なんで問題がなく、2案目は9つのグループ全員の発表を、要は班が違えど聞きたいというニーズもあるでしょうし、そこは拾いたいなというところであれば、20分という限られた時間であれば1グループ2分だねと。なかなか難しいけど、そこはニーズと、それからどうマッチさせようかというところまでここに至ってるというので。後で確認もできるという意見もありましたねと、後で読めば他の班、要は他の委員会のことも聞けるんだけど、人の心理としてはその場で聞きたいよねというのがあると思います。特に投票率なんていうのは私も聞き、後はそれは聞けばいいんだけど、あるしで、要はお越しいただいた市民の方ですね。こちらの方がより満足していただけるのはどちらかなと思うと、私は、9グループが要は1番目から9番目で、なかなかそれはちょっと難しいかもしれないけれど、逆に短くなって不満足に思われるかもしれないけれど、簡略に極力2分以内にとどめていただいて、9つのグループの意見を全員が聞いて帰るというほうが私はいいと思っております。以上です。

○又野委員長 田村委員。

○田村委員 私も作業部会で9グループの発表というほうに意見した者として意見を述べさせてもらおうと、前回のを思い出してみるに、9つのテーブルがあって、それぞれ市民の方、いろんな代表の方とか様々な意見が交わされたんですが、結局そのグループ、その3つを代表して1つの発表というような形で、その取りまとめがちゃんとできてなかったんじゃないか。要するにその発表者のテーブルの発表にとどまってたんじゃないかと思ってました。したがって、9つのテーブルのうちの3つの発表であるということは、6個の

テーブルが結局その意見が共有されない。先ほど後で確認できるんじゃないかって話もあったんですが、やはり稲田委員と私も一緒に、その場で多様な意見、要は自分が参加していないグループのお話も聞きたいですし、やはり市民としては。それとあと、市民の先ほども出た満足度的にいけば、やはり自分がしゃべったことを確実に、これ言ってねっていうようなことあれば、いい意見かどうかは別としても、そのグループの意見としてこういうことがありましたということが取り上げられる可能性が出てくるということ。

それと、あと短くなるということに関しては、これは委員長がいわゆるタイムキーパーとして小気味よく、じゃあ、ありがとうございます、じゃあ、次っていうような形で各テーブルを回っていけばクリアできるんじゃないか。そういうことによって参加者の満足度が高まるのであれば、私は9グループの発表で、この20分っておっしゃいますけど、電車が出るわけじゃないので、多少延びたとしたって、これ僕は、市民の方がよかったと、自分が言ったこともちゃんと皆さんに聞いてもらえたということにつながるのであれば、そこはぎちぎちにしなくてもいいんじゃないかというふうには思ってます。以上です。

○又野委員長 錦織委員。

○錦織委員 私は前回というふうに考えてます。9つの意見、グループの意見を聞くっていうのも一応、参加者は自分の関心があるところに出ておられるので、ほかの2つの班っていうか、その意見がそんなに聞きたいかなっていうのを思ったりするっていうのもあって、後で何かこういうまとめが送られてきたときに、ああ、こういうのが出たんだっていうふうに確認してもらえばいいかなと思ったりして。それで、むしろ私が心配するのは、2分とかにまとめ上げるのには本当はすごく時間が要すると思うんですよ。そのまとめることに注力しないといけないっていうことよりも、やっぱりみんながいろいろ意見出されて、ある程度のものを発表するというもののほうがいいのかなって、まとめ上げて発表するっていうと、すごい高度だと思うんですよと私は思って、私だったらようせんと思うもんだからです。

○又野委員長 じゃあ、せっかくですんで、ちょっと大下さんの意見を聞いてから。

○大下委員 自分まだ参加したことないんだけど、住民目線から考えると、やっぱりその場で発表を聞きたい、結果を聞きたいっていうのもありますし、それで確かにほかの班のことは関心がないって言われればそうなのかもしれないですけど、やっぱり来とられる以上はほかの方にも聞いていただきたいって思って来られてると思いますんで、時間は限られてタイトになると思うんですけど、やっぱりそこら辺は皆さんに発表していただく機会を設けるべきじゃないかなと自分は思います。

○吉岡委員 もう1点。

○又野委員長 吉岡委員。

○吉岡委員 ちょっと稲田委員の意見を聞いて心変わりをしまして。(笑声) やっぱりさっき大下委員が言われたみたいに、議員目線だと後で見ればいいやって思ったんですけど、やっぱり住民の方の目線でいうと、その場で聞いて帰りたいっていうのはもっともだなと思いました。私の出るワークショップとかも結局、最後は9グループぐらいあってももう1人ずつの意見を代表の方が述べられて、それで終わりっていう感じになっているので、オペレーションがうまくいけばできないことはないのかなっていうふうに思っていて。私この最初に各グループの役割分担表を見たときに、私、進行役になっていたんで、進行し

ながら、例えば付箋に、参加者の方に書いていただいただけじゃなくて、自分も出た意見をどんどん書いて貼って行って、その間に記録・発表（サポート）の方がその御意見をまとめておいていただくと、すごくスムーズにいくというふうに思っていたので、そのところのサポートを記録・発表の係の方が全体を見ていて、発表はどうするかっていうのを短くまとめて発表していただくみたいなオペレーションが可能であれば、9グループ全部の御意見を聞いて帰っていただくことはできるし、あと、もしそれがちょっと力量的に難しいということになると、班ごとに聞いて帰るっていう選択肢もあるのかなと思いました。

○又野委員長 いいですか、班ごとだと前回と一緒にじゃないですか。どういうあれですっけ。

○吉岡委員 班ごと、グループごとじゃなかったでしたっけ。

○又野委員長 ああ、班ごとにまとめるのも、またあれだな。

稲田委員。

○稲田委員 それも案で出たんで、作業部会で。前回と一緒に。今テーブルにのってるのは9グループ、その間で各常任委員会は別ですよ、班の中でまとめたのを、だから、発表するのは3班ということですね。では、間なんですけど、このまとめる作業に時間を要してしまうと、発表時間が短くなるか、あるいは意見交換の時間が短くなってしまうので、それは今日のテーブルにはのせてないっていう経緯があります。

○又野委員長 吉岡委員。

○吉岡委員 じゃなくって、まとめたもの全員、全体で共有じゃなくって、そのテーマごとに各グループの発表を共有、錦織委員が言われたみたいに、ほかのテーマは聞かずに、自分の参加したテーマの分はそれぞれのグループの発表を聞いて、3つに分かれて総括して終わりみたいな、全体で共有じゃなくって。

○又野委員長 それだと前回と同じになるんじゃないですか。

○吉岡委員 前回と同じ。

○徳田委員 前回と全く一緒。

○又野委員長 うん。

○錦織委員 ほかのテーマも。

○吉岡委員 ほかのテーマのも聞きたいっていう話。

○徳田議員 いや、そういうことでしょう。

○又野委員長 9グループはね。

○吉岡委員 じゃあ、オペレーションをちゃんとしないといけないと思います。

○又野委員長 徳田委員。

○徳田委員 理想、理想というか、確かにそういった意見もあると思うし、9グループの分を全部聞きたいのはやまやまなんですけども、去年、私がした分では、やっぱり分類まで本当に行かなかったところもあるわけですよ。それを飛び越えて可能かどうかというところがやっぱりありましてですね。

（発言する者あり）

ええ、それは自分の意見だけ言うんだったら大丈夫かと思いますが、全体意見をまとめてやって、それは力量だとか、いろんな調整役の力量だとか、いろいろ言われるんです

けども、実際、去年、自分のグループで経験してそういう状況でした。分類までようやくたどり着いて、じゃあ、その後、意見まとめて集約してディスカッションする段になるのかなっていう懸念が私は正直あるんです。

○又野委員長 錦織委員。

○錦織委員 やっぱり能力的な問題があって、私も例えばね、吉岡委員や伊藤ひろえ議員なんかは結構そういうのを慣れておられるんで、多分ぱっぱっぱっぱ仕分したり、ほかの人がしゃべってるときにやったりとか、司会進行しながらやったりっていうのができると思うんですけど、私自身のことを考えると能力的にちょっと無理だなっていうふうに、高齢もありますのでありますけども、どうですか、皆さんは。それを求めてしまうのはちょっと難しいかなっていう感じがするんですけど。

○又野委員長 ちょっといいですか、私からも。今の話を聞くと、今のところ、発表者は高校生がメインなんですよ。まとめるってなると、結局は議員がまとめて高校生が発表するだけになっちゃうのかなっていう感じが、すごい9人になった場合はしたんですけども、そうすると発表自体ももし高校生がするってなった場合に、まとめる、自分でやっぱりまとめてっていう意味で高校生の発表だと私は思ってたんですけども、もう高校生は発表だけになるような気がしたんです。そこら辺……。

田村委員。

○田村委員 作業部会では、要するに高校生だったりとか、いわゆる市民の方を優先的に話ししてもらおうということと、あと、それでスキルの問題もありますので、それをちゃんと補佐する意味で議員がついてて、それを最終的に、あっ、この部分入れてないとか、そういったものはちゃんと後で付け足してフォローをするというようなことでやると。したがって、その発表する高校生たちにも全てをきれいにまとめあげるっていうスキルを求めているものではなく、全体的にそれを総括して議員がサポートするということでクリアできるんじゃないかということと、あと最終的に意見がそこで拾ってもらえてなかった人が中にいたとして、最後に何かありませんかって、救済措置って稲田委員はおっしゃったけども、挙手をいただくという時間も設けるということで、参加していただいた方々の満足度が高められるんじゃないかという、そういう意見だったと思いますよ。それ、ちょっとお話しになってなかったんで、今確認させてもらいました。

○又野委員長 吉岡委員。

○吉岡委員 多分、私たちよりも、今の高校生さんってワークショップとか発表とか慣れておられるので、本当に力を合わせたら何とかできるかなっていうふうに、相手が高校生さんだったら。むしろ私たちがするよりは上手にまとめて発表されるのかなって思うので。ただ、紙を持って出るのに時間がかかったりとか、そういうふうなところに時間がかかると、皆さんの発表を共有するっていうのが難しくなるので、やっぱりちょっとその辺のオペレーションうまくやるっていうのが大事ななと思います。

○又野委員長 そうしましたら、そうだな、ちょっとまとめる時間をしっかり取るような話をしておいた方がいいのかなという、もし9つでやる場合はですね。

○徳田委員 それが一番大事だと思います。意見交換会なんですから。

○又野委員長 日程でいえば、何やるんだろう、意見交換会がですんで、あら、50分だったらいいですね。まとめの部分に入ってくださいっていうのを、ごめんなさいね、ぱっ

ぱと私もまとめれる自信がなかったので、あれだったんですけれども。残り10分ぐらいで、もうまとめの時間に入ってくださいって言ってしてもらえれば大丈夫ですかね、そしたら。それで二、三分ぐらいで全部の発表をみんなで聞くということ。

徳田委員。

○徳田委員 この尺の問題で考えると、14時15分から20分、5分の尺がありますよね。意見交換会の進め方の説明、留意点とかって。これも大事な部分ではありますけども、これを多少短めにさせていただいて、この意見交換会開始から発表までの時間をもうちょっと設けてもらったほうがいいかなと思ったりもするんですけど、5分の尺が進め方の説明で要るのかなっていう、正直なところ。

○又野委員長 意見交換会の進め方の説明が5分ある。

稲田委員。

○稲田委員 ということは、15時15分から5分ではなくて数分程度にするか、もうその班の中で冒頭、進行役がこれを確認するか。ですから、14時15分から意見交換開始。冒頭は今14時15分に書いてある内容の読み上げを確認して、自己紹介に入ると。

○又野委員長 ああ、あ、なるほど、なるほど。説明をもうそれぞれの、全体でやるんじゃないかっていうところですね。

○徳田委員 結局、だから、進行役が理解を……。

○又野委員長 徳田委員。

○徳田委員 先ほど稲田さんが言われたように、進行役がどんだけ理解をして、みんなに知らしめるっていうことがポイントだと思いますんで、今言われたようなやり方が僕はいいかなと思います。その分、だから、ディスカッションも深まるし、やっぱり最低限の時間って要ると思うんですよ。意見調整をして発表をする段の分に行くと。やっぱりこの尺でいくとちょっと足りないような気がしますんで、先ほど言われたように、14時15分から意見交換会開始と。この交換会はこういうふうな進め方でやりますっていうことを、進行議員のほうからしっかり説明してもらって、理解していただいた上で進めていくと。

○又野委員長 はい、分かりました。

吉岡委員。

○吉岡委員 最初の意見交換会の進め方の説明って、簡単な自己紹介ってあるので、いわゆるワークショップの中でやるアイスブレイキングの時間だと思うんですよ。これ別にわざわざ分けなくっても、全部入れてしまって、自己紹介はやっぱり絶対要ると思うので、それをいかに短縮してやるかはそのグループの中の工夫で、意見交換の時間を取った上で、やはり最後の5分はこれ、もうここの辺でまとめに入ってくださいみたいな感じで大体、進行言われるので。その時間をやっぱり逆にここを振り分けて5分取って、その前の段階は全部これひっくるめて、もう各グループの進行でやればいいのかと思います。

○又野委員長 うん。そうしますと、14時15分から全体での説明はやめて、もう各グループで進行の人がちゃんと理解して、簡単に説明して、早く意見交換会に入ってもらおうということですね。早めにまとめに入ってもらって、例えば私が合図したら、もう確実にそっからまとめに入ってもらおうというところで徹底して、9つのグループが全てみんなの前で発表するというところでよろしいでしょうか、皆さん。

〔「異議なし」と声あり〕

○又野委員長　じゃあ、ここ、また修正をちょっとしましょう。

田村委員。

○田村委員　私、最後、謝辞ってありますけども、本当1分で終わる気がしますんで、ここも使ってもらっていいと思います。

○又野委員長　じゃあ、その辺りは、ちょっと押した場合とかはひとつよろしく願いいたします。

じゃあ、この部分、進行表とマニュアルについてほかにもし何かあれば、ほかの部分でも。

吉岡委員。

○吉岡委員　細かいところですけど、何か事務局の役割のところ付箋が入ってないなと思ったんです。

○又野委員長　準備のものです。

○吉岡委員　これは準備物っていうわけではないんですかね。やることだったら、わざわざ入れなくてもいいのかもしれない。あ、事務用品に入ってるのかなって思います。だったら、いいです。

○又野委員長　一応書いといたほうがいいのかな、付箋、どうでしょうかね。

田村次長。

○田村事務局次長　事務用品の中に含めていただけたらいいかと思うんですけども、必要なものです。模造紙も入れてますので、付箋も入れておきます。

○又野委員長　じゃあ、大事なもののなので、付箋を。

錦織委員。

○錦織委員　委員長がタイムキーパーの役割もしながら、はい、次、次っていうのは、これ見ながら聞いているっていうのも、ちょっとしんどいかなって思うんですけど、タイムキーパーの人はタイムキーパーで、それだけに専念する人がいたほうがいいんじゃないかなっていうふうに思うんですけど、大丈夫ですか。発表を聞きながら、この時間を気にしながらっていう、大丈夫ですか。

○又野委員長　何とかそれは、中身がどれだけ聞けるかっていうと、あんまり聞けないかもしれないですけど、時間が気になって。できるはできるかなとは、思います。

稲田委員。

○稲田委員　私、無職なんで、やれと言われれば。

○又野委員長　あっ、じゃあ、一緒に。

○稲田委員　はい、分かりました。

○又野委員長　よろしくお願いします。ありがとうございます。

○稲田委員　じゃあ、続けて、すみません。

○又野委員長　稲田委員。

○稲田委員　チンってありますか、ありますよね。じゃあ、チンを備品に入れといてください。何分前にチンとかは、ちょっと委員長と相談して。

○又野委員長　そうですね、チン。

○稲田委員　使わないかもしれないし。

○又野委員長　ちょっと相談しましょう。ありがとうございます。

大下委員。

○大下委員　ちなみに自分も無職なんで、何かできることがあれば。

○又野委員長　じゃあ、大下委員にもいろいろ相談させてもらって。

田村次長。

○田村事務局次長　昨年、前回、副委員長さん、委員長の補佐と、あと写真の記録を担当していただいていたので。

(発言する者あり)

ええ、写真撮影の担当ということで、ちょっと分担のほうを決めさせていただいてなかったところがあります。

○又野委員長　写真がありました。すみません。

じゃあ、どうしましょう。それも、こういう話になったらあれなので、書いといたがいいますかね、写真、記録撮影みたいな。

○大下委員　はい。

○徳田委員　すみません、ちょっと確認です。

○又野委員長　徳田委員。

○徳田委員　どうでもいいんですけど、たしかコンベンションは下の1階でしか駐車券の受付処理はできなかったと思うんですけども、当日は無料処理機を持ってきていただいて、会場でしていただくっていう理解でいいんですかね。

○又野委員長　2階は……。

○徳田委員　いや、あれは持ってきてるケースなんです。通常はできないんですよ、1階受付しか。

○又野委員長　松田局長。

○松田事務局長　2階のほうにも準備してまいりたいというふうに考えております。

○又野委員長　吉岡委員。

○吉岡委員　最後のそれぞれの発表って、誰が記録するんですか。それがやっぱり議会報告会の報告書に上がってこないといけないものだと思うんですが、それはマイクでしゃべるから事務局が拾ってくださるのか、それが報告書に書けないといけないかな。最初の文章にして共有するっていうのはそこなんですけど、その最終的な発表って報告書に上がらないといけないと思うので、委員長が記録をされる。

○又野委員長　稲田委員。

○稲田委員　1年前はたしか各常任委員長が作成したのを提出いただいて、私もそれを確認させて、ホームページも載ってると思いますので、別に9個聞こうが、自分の所管の3グループの記憶にとどめれば、あと模造紙も残るので、それを持ち帰って、後で振り返って報告書を書けばと思いますが、どうでしょうか。

○又野委員長　吉岡委員。

○吉岡委員　今見ると、やっぱりまとめた発表の文言が載ってなくて、個別の意見は付箋で残るので、書いてあるんだと思うんですけど、やっぱり最後のまとめの発表が報告に載らないと変なのかなって思ったんですけど。

○又野委員長　稲田委員。

○稲田委員　今回ルールつくるっていうことであればあれですけど、前は班で、班とい

うか、委員会でね、まとめは作ってないと思う。3つの模造紙発表があって、それで終わってると思いますよ。それを基に委員長がペーパーを作成してます、前回はね、少なくとも。

○又野委員長 吉岡委員。

○吉岡委員 その発表の内容が本当に報告書に反映されてたのですかね、何かそこが分からない。

○又野委員長 稲田委員。

○稲田委員 私も他のグループのことは見えませんし。

○吉岡委員 ああ、そっか。

○稲田委員 委員長もそこは難しいですね。あつ、前回は、3つのグループが同時並行で発表をし合っているのです。ですので、前回同様であれば、前回同様のやり方で私は問題はないと思います。

○又野委員長 ちょっと、できれば私も全部のを厳しいので、それぞれの委員会でやっていただけると。前回同様に、じゃあ、各委員会でということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と声あり〕

○又野委員長 ありがとうございます。

ほかに何かございますでしょうか。

田村委員。

○田村委員 当日集まって、わあつとみんなで机出してっていうやつなんですけど、昨年の配置の写真とか図面とかっていうのは、事前に議員さんのほうに目に触れる状態にあったほうがいいんじゃないかと思います。

○又野委員長 うんうん、あれ……。

田村次長。

○田村事務局次長 昨年も図面を作らせていただいてましたし、今年も同様なものを作らせていただいて、事前に皆さんに確認いただけるように用意をさせていただきたいと思います。

○又野委員長 うん、でしたね、あれ、ありましたよね。

ほかにございますでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

○又野委員長 では、次に移りたいと思います。

田村次長。

○田村事務局次長 (5) アンケート項目の検討、決定についてでございます。

アンケートの内容につきましては昨年と同様の、内容も全く同じものでいいのではないかと、作業部会のほうでは御意見をいただいております。ですので、特に修正等はさせていただいてない内容のものを資料で載せさせていただいております。特に付け加えたい事項とか修正が必要なんではないかというような意見がございましたら、御協議お願いいたします。以上です。

○又野委員長 ということで、昨年同様ですけれども、もし何か御意見があれば。

田村委員。

○田村委員 これ作業部会で言えばよかったんですけど、QRコードの説明、やっぱりあ

ったほうがいいなと思います。いわゆるスマホでの回答はこちらとか、それを付け加えるべきだと思いますが。

○又野委員長 徳田委員。

○徳田委員 これ、すみません、くだらん話です。G o o g l e フォームでやるんですよ、分かりました。

○又野委員長 説明文は載せとき、大丈夫ですよ、そんな。

ほかによろしいでしょうかね。ありがとうございます。

松田局長。

○松田事務局長 ちょっと気がつくのが遅くなったんですけども、6番の項目でございます、2ページ目に(4)今回初めてのつてありますんで、ここ、ちょっと削らせていただきたいと思います。申し訳ございません。

○又野委員長 ああ、ありがとうございます。

○松田事務局長 テーマ別、グループ分けを行いましたということで、(4)はさせていただきたいと思います。

○又野委員長 ありがとうございます。

じゃあ、ちょっとそこ文章を変えておくということ。

そうしますと、議会報告会・意見交換会については以上で。何か言い忘れたことがある人はおられますかね、大丈夫ですかね。

〔「なし」と声あり〕

○又野委員長 では、次に、協議事件2、議会だよりについて協議をしたいと思います。事務局から説明をお願いします。

坂本係長。

○坂本議事調査担当係長 議会だより作成、発行に係る経費削減につきましては、11月15日の委員会のほうで少し御意見を伺ったところですが、協議のための資料としまして近隣の市などへ議会広報紙の状況について照会を行いまして、回答を取りまとめたので、御報告いたします。

照会を行ったところは、鳥取県議会、県内の3市の議会、松江市議会、出雲市議会、広報コンクール受賞したところとしまして大山町議会、埼玉県の寄居町議会、広島県呉市議会です。あわせて、議会広報紙のPDFデータを載せております。協議の参考資料として御覧いただきまして、御意見をいただければと思います。

あわせて、また、資料は用意しておりませんが、タブロイド版につきましても御意見をいただいておりますので、その費用について見積りを取りましたので、御報告させていただきます。

まずをもって、市内に、タブロイド版を作成するために必要な輪転機を所有する印刷会社がないということでした。今回取りました見積金額は、タブロイド版と同じような形に印刷した場合の金額ということで、ちょっと少し高めの金額になっております。12月1日発行の議会だより79号の内容をそのままタブロイド版にした場合ということで見積りを依頼をしまして、金額としましては約167万円で行いました。議会だより79号について、実際に支払った金額につきましては約230万円でしたので、費用としましては約3分の2になります。ただし、通常の新聞紙の紙質のようなタブロイド版にした場合は、

もっと3分の1ぐらいに安くなるようですけども、市内にはその対応できる印刷会社がないということでした。

それから、議員だよりは現在、広報よなごやよなごの国保、よなごの下水道、よなごみ通信など全部で8種類の、市が発行してます広報紙につきまして、一括で契約を行って、配送用に梱包を行って、運送会社にとって、各自治会等へ配送しているという状況であります。広報紙の大きさも全てA4判のものとなっております。議会だよりをタブロイド版とした場合には、印刷及び配送につきまして個別契約が必要になります。配送のことを考えますと、これまでの広報よなごと併せた一括契約のほうが効率的で、費用も抑えられるのではないかと考えております。

それから、資料を1件通知します。次の資料の議会だよりに関する検討経過でございますが、こちらは昨年の7月19日の広報広聴委員会の資料を再度掲載したものでございます。議会だよりの改善が必要な項目のうち、継続協議の項目が4項目ありますので、協議の際には、こちらについても留意していただきながら、御意見をいただければと思います。

説明は以上でございます。

○又野委員長 ありがとうございます。

今日はこのことでどうこう決めるまではしないんですけども、繰り返しになると思いますけれども、視察に皆さん行かれたときに、よそではタブロイド版が時々あるということで、そのタブロイド版にした場合の金額はどうなのかという御意見が前にありましたので、実際に事務局のほうから取っていただいたんですけども、本当にタブロイド版にした場合、物すごく安くなるんですけども、先ほどの話で、そのタブロイド版の輪転機がないということで、タブロイド版の大きさにした場合っていうことでの見積り。それにしても安くはなることはなります、3分の2程度に。本来は3分の1ぐらいになるみたいなんですけども。ただ、そうした場合、さっきもあったんですけども、ほかの広報紙とサイズが変わってくるので、手間が多分物すごい、余計違う手間がかかるんだろうなということで、契約も別になりますし、やっぱりそれをやる手間のことを考えたら、多分その分の費用が、業者さんも変わってくるのは間違いないと思います。

本当にですよ、この委員会の場で、何とかタブロイド版でっていうふうになった場合は、当局とも相談して、全部タブロイド版にしたほうがいいぐらいの感じだと、私はちょっと思ってます。これだけタブロイド版にした場合は、それぞれの回覧も多分大変になってくると思いますんで、やるとしたら、当局とも相談しながらやる必要があるんじゃないかなと。私の意見です、あくまで。これ参考にまた今後、意見を言っていただければと思うんですけども。

それと、タブロイド版にならなかった場合ですけども、どうやって経費削減できるかっていうので、紙面を削減していくということになるんですけども、あわせて、これまでの検討経過の中で、もうちょっと文字を大きくしたらいいんじゃないとか、各委員会の、コンクールで賞を受けたところ、皆さんも見られてる部分あるかもしれませんけれども、委員会の内容を結構載せておられたりとか、いろんな住民の方の声とか活躍しておられる方のかも載せて、紙面上はあんまり減ってない、コンクールを取るようなところは、状態です。ですんで、中身を充実させながらページ数を減らしていくってなると、一般質問の部分、ページ数減らしているところはやっぱり、今、米子は1ページに2人で

すけれども、それを3人にしていくとか4人にしていくとかっていうことになるかなと。ですんで、質問の載せれる内容っていうの、かなり少なくなってくる。そこを、それで行くとするのか、それとも、紙で見とられる方もおられるんで、なかなか減らせんわってなった場合は、ページ数の削減自体は難しいのかな。そこら辺を、私の感じはそうですけど、皆さんがどうお考えなのかっていうところを聞きながら、この辺進めていきたいと思っておりますんで、また引き続き協議していきたいとは思いますが、今日でももし御意見があれば、例えばほかにもこういう見積り取ってほしいとか。

徳田委員。

○徳田委員 私、前職でこういった関係の、出版関係の仕事をしてましたんで、中身については理解しとるつもりですけども、この中では。一番経費がかかる部分って、やっぱり版下っていいまして、要するにプラットフォームですよ、印刷するときの。その設計料と、それをいわゆるPCの中でやるなり読み込ませっていう理解でいいと思うんですけども、印刷の段階になると。という部分が、やっぱり一番経費がかかる部分だと思ってます。実際そうでした。

したがって、何が言いたいかというと、紙面を少なくしても、それ、そんなに目に見えた効果は私は出てこんと思うんです。問題は、だから、その中身をどうしていくかっていう議論をやっぱり深めていかんといけんなと思いますし、結局、印刷部数が、これは例えば何部以上であれば、いわゆる交の部分なんで、いわゆる損益分岐点的な部分で、何ぼまで抑えたら経費があんまりかからんようになるのかっていうことも検討としてはやっぱり必要かなとは思いますが、いわゆる通常の会社でいくところの採算っていいですか。そういった中で、タブロイドの部分もやったらどうかというような意見があったんですが、現実問題、これは米子市においては業者がおられんっちゃうことなので、なんちゃってタブロイド版を出してもしょうがない話なんです。それはちょっと選択肢としては厳しいのかなと思いますので、あとは紙面の中身と充実を踏まえた上で、議会だよりですから、やっぱり1ページに議員が3人、4人おるっていうのもええかも分かりませんが、ちょっと何かそこは、私は筋が違うような気がするんですけどもね。

すみません、思うがままの意見を言っただけの話で。

○又野委員長 いえいえいえ。皆さん、取りあえずの御意見でも全然構いませんので、もしあれば。

稲田委員。

○稲田委員 思うがままでもいいんですか。

○又野委員長 まずは、まずは。

○稲田委員 まあいいや、広報広聴委員に何回かなってるので、そのときの変遷を見るに、中身の話をするのか、経費の話をするのかがいつもごちゃごちゃになってしまうのですから、経費面から見たら、ページ数を削っていくのがシンプルに分かりやすい帰結かと思っております。中身のことを言えば、もう十人十色になりますので、中身を充実しつつ経費も抑えることがもしあれば、その策が一番いいでしょうけど、もう経費面で見ると、中身の充実で見るとは、きっちりと整理して意見を言うやり方で進めることを要望しておきます。以上です。

○又野委員長 ほかに。

吉岡委員。

○吉岡委員 ちょっと今、当局の説明を聞いていてすごく疑問に思ったことを正直に申し上げると、印刷会社の設備に合わせて議会だよりを考えるんですか。タブロイド版にもしするというふうに議会が決定をした場合に、それを発注したときに、受ける側がそれを考えるんじゃないんでしょうか。業者の都合に合わせて私たちは物事を決めないといけないのかなっていうふうに今思いました。

あとタブロイド版にするというのは、多分、新聞折り込みとかポスティングとかを想定してるのかなと思うので、無理に、米子市議会の場合、今、配布方法は変わらないということであれば、タブロイド版についていうことに限定はしなくても、なんちゃってタブロイドでも、それは内容がきちんと収まればいいのかと思いますし、鳥取県議会のだよりと比較したような投稿があったように思いましたので、新聞に、鳥取県議会のようなスタイルにするという手もあるし、こちらで議論して、それは印刷会社さん、できるところが受けられればいい話であって、市内の業者さんの都合に合わせる必要は全く私はないと思っています。

○又野委員長 錦織委員。

○錦織委員 印刷するのは市内の業者さんになるべく利用しないと、かなり数も多いものなので、私は、やっぱりその点は考慮しないといけないと思います。市内業者にできるだけ発注するということは大事だと思います。

町村の、聞いてると、すごく広報広聴委員会っていうのが忙しくて、自分たちが何か版下まで作り上げるっていうんで、それで何か何日もかかって集まってされるんで、それはその委員になったら大変だなんて思いながら聞いてますけどね。そこまで米子の市議会でする覚悟をするのかということから考えると、やっぱりページ数を減らすぐらいかなっていうふうに思いますけどね、私は。その減らし方がね、ちょっと皆さんの意見をいろいろ聞いたりいうふうには考えてますけど。以上です。

○又野委員長 そうすると、どうしようかな。取りあえず経費を削減なのか、中身の充実なのかとか、中身をどうするのかなのかっていうところで、なかなかやっぱり両方考える、一緒には難しいんですよ、難しい。

徳田委員。

○徳田委員 整理することは大事ですけど、最終的には、そのために、どっちが目的でどっちが手段か分かりませんが、最終的には僕は経費の削減だと思います。やっぱり公で、公のお金使ってやっとするわけですので、その削減した分、中身を削っておしまいではなくて、先ほど申し上げたのは、やっぱり中身の内容をもう一遍見直しということが必要になってくるのかなと。単純にページ数だけ削減しましたでは、やっぱりちょっといけないのかなという。それで、あえてちょっと言わせていただいたところ。

○又野委員長 じゃあ、少なくとも削減はやっぱりしてって、その上で中身、あとはどうなっていくのか。あと紙面なのか、さっき議員で、これで印刷ってできるぐらいまでやっていくのかどうなのかという。

○徳田議員 相当技量が要りますよ。

○又野委員長 じゃあ、それがちょっと難しいっていう感じでいいですかね。

○徳田議員 現実には不可能だと思います。

○又野委員長 稲田委員。

○稲田委員 私、先ほど経費のところではページ数削減と言ったんですけど、これってページ削減する単位って、要は1枚抜くので、4ページなくなるっていう認識でいいでしょうかって確認だけさせてください。

○又野委員長 坂本係長。

○坂本議事調査担当係長 契約する印刷会社さんにもよるんですけども、今契約している印刷会社さん、偶数のページであれば対応してもらえるっていうところです。

○又野委員長 じゃあ、2ページ単位。

○坂本議事調査担当係長 4ページの倍数ではなくて、2ページ単位で。

○又野委員長 稲田委員。

○稲田委員 要するに普通4ページ分なんだけれども、2ページ減ったら一番内側のページがA4、1枚の裏表だけになるよっていう意味だと思います。

それともう一つは、恐らく3月議会の内容を載せる6月分だけボリュームが多いですよ。代表質問載せるやつが多いので、一律でやってもいいし、その月をどうするかっていうか。もう一回ゆっくり言いますね。だから、年4回発行するうちの1回分は他の3回よりもページ数が多いです。じゃあ、これも平準化するっていうのも一つの考えですし、あるいはページを間引くのであれば、先ほど言った最小単位は2ページであるっていうことが今、取りあえず今の発注体制だとそうなるというところですね。そこを一応確認したいほうがいいかと思って尋ねました。以上です。

○又野委員長 分かりました。

そうすると、議員の間で全部版下やるのもなかなか厳しいだろうという感じなので、減らすとしたら、紙面を減らして削減していくっていう方向になるのかなという感じが、私としてはしていますけれども、そのような方向でよろしいんでしょうかね。

田村委員。

○田村委員 今の議会だより見てまして、無駄なページがあるとは私は思っていないでして、特に支援者さんからよく言われるのは、米子の市議会だより、いいと。何が良かったら、要は議員の発言がしっかり載っていると、当局とのやり取りがですね。県議会だよりなんか見てみると、本当ちょっとだけ、おまけみたいな、何これっていうような。なので、ああいうのと比べると、やはり読みがいがあるんだよということはいただいておりまして、削減の対象に、まさか議員の発言のスペースが削られるなんていうことはないように、これは私のほうから要望したいと思います。

○又野委員長 大下委員。

○大下委員 実言うと、自分のところも住民の方から、議員自体が何してるか分かんなくて、それで議会だよりを見てようやく、テレビ見られる方はいいんですけど、見られてない方にとってはもう紙面でしかの情報が入ってこないんで、やはりそこは、何か住民の方が言われたのは、議員さんが発言されて、その内容を住民の方で話し合うきっかけにもなるしっていうことなんで、自分も田村委員が言われたように、やっぱり内容に関しては、その議員の発言に関しては、そこをちょっと重点的にしていただきたいなって。

○又野委員長 稲田委員。

○稲田委員 もうチャイムも鳴ったので、最後にしますが、田村委員の発言の内容で、私

なりのちょっと見解を言いますと、これを送信しちゃえばいいんだな。今ちょうど手元に、皆さんにも配付されてるやつで、米子市、以前の広報広聴委員会で話した内容で、各委員の持分をどうするかっていうのは、今日ここでは言わずに、米子は客観的に言うと、文字が多分よそと比べて圧倒的に多いと思います、文字数が。もともとは鳥取県議会だよりが一番、比較対照例でいいと思いますけど、あちらと比べるともう10倍ぐらい。文字数ですよ、中身とか一々言いません、文字数。それから、写真やチャートをいっぱい入れているところもあって、受賞されてるところって比較的写真が多いなと思います。

今送ったの、うちの我が米子市議会の12月分は、これ17ページ以降ですね、この部分については、私は市民の方の関心がないとは言いません。先ほど田村委員、大下委員が言われた、各議員個人の活動は議会だよりを見てますよというのは一番ごもっともな御意見なんですけど、もし削る方向でいうと、今送った17ページ以降ですね。もちろん今PDFにして議会のホームページでアクセスすることができるというのが1点と、これ以前も言ったんですけど、とっても文字がちっちゃいんですよ、この17ページ以降に該当する部分って。これは、逆に私は不親切に近い情報の出し方だと、現代的に言えばね。もちろんスマホで見てワイプで広げられるでしょと言われるかもしれないけど、もう意図は伝わっていると思いますので、全部が今のままがいいとは少なくとも思っていますので、こういう考えが持ってるということをちょっとお伝えしました。以上です。

○又野委員長 ありがとうございます。分かりました。ああ、分かってないかもしれないですね。

議員の質問の部分はできるだけ、面白いですよ。確かにほかのところは減らすのが多い感じの中で、独自にしっかりと取っておいても、またこれも面白いかなって、聞きながら、私、思いました。ですんで、ほかの載せる、ここまで市民の皆さんが見てるかどうかになっていうところを減らせるかどうかっていうところで、ちょっと、じゃあ、話をしたいかなと思います。

じゃあ、いいですか、以上で。ごめんなさい、もう昼に入ってしまったけれども、ほかに何かありましたかね。

(「なし」の声あり)

○又野委員長 大丈夫ですかね。

以上で広報広聴委員会を終了いたします。

午後0時04分 閉会

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

広報広聴委員長 又 野 史 朗